

日付：2006 年 3 月 17 日

提出元：NTT 東日本

題名：アマチュア無線との干渉対策に関する提案

1. はじめに

本寄書は、JJ100.01次版改定時において、アマチュア無線との干渉対策をより具体的に規定することを提案するものである。

2. アマチュア無線との干渉対策に関する提案

DSL スペクトル管理の基本的要件において、「新たなスペクトルを利用する伝送方式のサービスにあたっては、アマチュア無線システム等のメタルケーブルを用いる伝送方式以外のシステムで、同じ周波数帯を利用するために相互に干渉を与えるおそれのある他のシステムへの影響に配慮することが必要である。具体的には、2.2MHz までを使用する ADSL 方式からのアマチュア無線システムに対する干渉の対策としては、ITU-T 勧告案に従い、1.81M~2MHz の周波数帯については DSL 伝送方式のスペクトルを -80dBm/Hz 以下に低減することにより対応し、アマチュア無線システムに対する干渉を及ぼさないよう配慮していくべきである。」とある。

また、本 SWG においても「スペクトル管理 SWG では、アマチュア無線との干渉対策として、「PSD を “ -80dBm/Hz “ 以下とする」を採用」(第 1 回スペクトル管理 SWG 議事録抜粋)とある。

現在までに、複数の伝送システムの提案において PSD マスクのアマチュア無線干渉対策のノッチ不備により手戻りとなるケースがあった。これらの手戻り等を回避し、確実に対策を実施する意味からもアマチュア無線との干渉対策を行うバンドを JJ100.01 に規定する必要があると考える。

具体的には、干渉対策として用いるノッチについては、G.993.1 Appendix “ International amateur radio band ” の Region 3 に従い、当該バンドの PSD を -80dBm/Hz 以下に低減することを JJ100.01 に規定することを提案する。

表 1：アマチュア無線との干渉対策を要する周波数帯域

アマチュア無線帯域 (平成 17 年 12 月現在)		G.993.1 Appendix “ ITU-R Radio Regulations Region 3 ”		G.993.2 An example list of frequency bands (the amateur radio bands)	
Band start (kHz)	Band stop (kHz)	Band start (kHz)	Band stop (kHz)	Band start (kHz)	Band stop (kHz)
1810	1825	1800	2000	1800	2000
1907.5	1912.5				
3500	3575	3500	3900	3500	4000
3747	3754				
3791	3805				
7000	7100	7000	7100	7000	7300
10100	10150	10100	10150	10100	10150
14000	14350	14000	14350	14000	14350
18068	18168	18068	18168	18068	18168
21000	21450	21000	21450	21000	21450
24890	24990	24890	24990	24890	24990
28000	29700	28000	29700	28000	29700

総務省 HP (周波数割当て/公開) <http://www.tele.soumu.go.jp/j/freq/index.htm>

<http://www.tele.soumu.go.jp/search/area/tbl/15/index.htm>

以上